

とうもろこし収穫体験（紀ノ川農協） 行って来ました！！

7月に組合員さんと共に久しぶりのバスでの遠出。 行きのバスの中で、生協の産直の意味や紀ノ川農協さんについて事前学習。とうもろこしおすすめメニューの紹介もしあい ワクワク感が高まります。バスを降りて田舎の風景（ミカン畑、柿畑、古い農家さんの佇まい等）見ながら、園地に到着。園地では、とうもろこしを育てるにあたっての思いや工夫を生産者の方から伺い、質問して交流を深めました。親子での参加の方も多数おられ、楽しい収穫体験になりました。



紀ノ川農協の若手生産者の星原さんから とうもろこし収穫の仕方を教えてもらいました。

葉っぱが千ク千クする背の高いとうもろこし畑に入り収穫。しっかり実が入ったトウモロコシを品定めして Get.

品種は ゴールドラッシュ



とれたよ～

質問タイムで学んだ事等



- ・とうもろこしのひげの数とコーンの実の数と同じ
- ・ヤングコーンはとうもろこしの若い時の実。
- ・とうもろこしの生育期間は90日
- ・穂先を切っているのは、風によるとうもろこし転倒防止のため(この畑では 13000 本穂先を切ります。大変な作業ですね。)
- ・おいしい食方。フライパンに皮付きのまま入れて蒸し焼き。トウモロコシご飯(とうもろこしの芯を入れて炊くと美味しくなる)
- ・カラス対策でカラスの模型をぶら下げる。
- ・収穫後の茎や葉っぱは そのままトラクターですき込んで、有機肥料に。
- ・この畑は、冬にはカリフラワー畑になる。楽しみですわ。



もぎたてを生でガブリ。甘くてジューシー。



参加した子供さんの絵です

参加者の感想

- ・生産者の苦勞がイメージでき、適正価格が浸透すべきと思った。
 - ・野菜など自分で見て買わないと嫌だったが、生産者と交流する事で安心して買うことが出来る。
 - ・親子での参加、初めてのとうもろこし収穫体験でとても楽しく良い経験になった。
 - ・JA とは違う紀ノ川農協について知る事ができた。チラシに載っていたら買おうと思う。
- (子どもさんの感想)
- ・楽しかった。コーンがりんごのように甘かった。
 - ・とうもろこしがどの様にはえているか、またいろいろな種類があることがわかり楽しかった。
 - ・とうもろこしをとることが勉強になった。本当にゴールドみたいでした。みずみずしくておいしかった。果物持りがあれば行きたい。



星原さん ありがとうございます！！
農作業大変ですが、頑張ってくださいね。
応援しています！！